



山本りか 県議会 通信

共に



2019・7・7 第32号

発行：三重県議会議員 三重県議会・日本共産党

6月12日
一般質問
山本りか県議

日米FTAへの知事の考えを問うが これまでの取り組みを述べるばかり

質問
①

山本県議：トランプ氏の言いなりに関税が大幅に引き下げられれば、「美ましく・みえ」の畜産・農業が壊滅的な影響を受けることは明らか。また、食はいのち・健康の源、急変する情勢の中で、FTA・三重の農政をどう考えるか。



鈴木知事：国の「総合的なTPP関連政策大綱」を活用し農業の競争力強化のための支援を強力に進めてきた。動向を注視し、必要あれば国に提言等を行う。

山本県議：県が力を入れる「売れる農業」「もうかる農業」で乗り切ること大切だが、県民のための「命を支える農業」を発展させてこそ三重県が元気になる。「家族農業」への支援こそ大切。



【山本県議】質問 ②

幼児教育・保育無償化はホントに無料?!

経済的支援をより必要としている子育て世帯が多い0～2歳児の無料は非課税世帯のみ。食材費が実費化されるなど、みなさんが望んでいる「無償化」の理念に反しています。

現在の給食費の支払い方法	幼稚園 1号認定	保育所 (3～5歳) 2号認定
主食 ご飯など 	実費払い	実費払い
副食 おかず 	実費払い	保育料に含まれる

給食費「実費化」

保育園利用者では支払金額が増える場合もあると心配しているがそういうことはないですね ⇒ 部長頷く

【山本県議】 秋田県では、給食費への県独自補助が6月県議会に提案（その後決定）されている。本県でも考えないか。「無償化」と共に「真の待機児童ゼロ」「より良い保育」にしていくことが必要。

ホントの無償化に



待機児童
ゼロに



給食費、制服代も
ゼロに

【山本県議】TPP・FTAで関税引き下げは、県民の「食」を支えてきた農業者・畜産業者を更なる窮地に追い込みます。「関税が下がれば輸入農産物の流入で子や孫が継げな

くなる」「アメリカのものは規模が違うから太刀打ちできない」、また消費者からは「正体不明の食品が入ってくる」と心配しています。県民の豊かな食を

奪ってしまうことのないように、持続的に発展させていくため、「家族農業」への支援の強化が必要です。

「身土不二」 しんどふじ

身体と土地は切り離せない。その土地でその季節にとれたものを食べ体を作ってきた。それが、身に一番に良い